

「Akerun」 API 利用規約

株式会社 Photosynth（以下、「当社」といいます。）は、当社の有するスマートロックシステム「Akerun」の各種システム・データの「Akerun」API（アプリケーションプログラミングインターフェイス）を通じた利用に関する当社と API 利用者間の権利義務関係を本「Akerun」API 利用規約（以下、「本規約」といいます。）に定めるものとします。

第 1 条（定義）

本規約に使用する以下各用語は以下に定める意味を有するものとします。

- (1) 「利用者」とは本規約に同意し、API により「Akerun」の各種システム・データを利用し、アプリケーションを開発・運用する者を意味するものとします。
- (2) 「本 API」とは、当社の有するスマートロックシステム「Akerun」の各種システム・データの外部アプリケーションからの利用を可能とする API（アプリケーションプログラムインターフェイス）を意味するものとします。
- (3) 「エンドユーザー」とは、利用者が本 API を利用し開発したアプリケーション等を利用する一般のユーザーを意味するものとします。
- (4) 「知的財産権等」とは、著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含みます。）、特許権、実用新案権、商標権、意匠権その他の知的財産権（それらの権利を取得し、又はそれらの権利につき登録等を出願する権利を含みます。）及びノウハウを意味します。

第 2 条（本規約の適用・範囲）

本規約は、本 API の利用に関する利用者と当社間の一切の關係に適用されるものとします。

2. 当社のサイト上に掲示される本 API 利用に関する各種ルールや注意事項、お知らせ等も本規約の一部を構成するものとします。

第 3 条（利用登録）

本 API の利用を希望する者（以下、「利用希望者」といいます。）は、本規約の内容を承諾したうえ利用登録が必要となります。利用希望者は当社に対し、利用登録申請時に別途当社が要求する情報（氏名、開発システム・アプリケーションに関する情報等その他の本 API 利用に関する情報）を提供しなければならないものとします。

2. 利用希望者は、利用登録申請の際に真実かつ正確で最新の情報を当社に提供しなければならないものとします。

3. 当社は第 1 項の申請を審査のうえ、本 API 利用を承諾する場合、その旨を利用希望者

に通知するものとし、当該承諾をもって本 API に関する利用登録が完了するものとし
ます。

第 4 条（利用契約の成立）

本 API に関する利用契約は、本 API の利用希望者が利用登録申請に必要な情報を提供
し利用登録の申込みを行い当社が当該申込を承諾し前条の利用登録をしたときに成立する
ものとし、なお、本 API の利用希望者は本規約の内容を承諾の上、かかる利用登録を
行うものとし、利用登録を行った時点で、当社は、利用者が本規約の内容を承諾している
ものとみなします。

2. 利用契約の変更は、利用者が当社所定の変更申込を当社に行い（当社サイト内の変更
申込画面上において入力・送信する方法を含み、以下同じとします。）、当社がこれを承諾
したときに成立するものとし、

3. 当社は、前各項その他本規約の規定にかかわらず、本 API の利用希望者及び利用者が
次の各号のいずれかに該当する場合には、利用契約又は利用変更契約を締結しないことが
できます。なおこの場合の不締結の理由は非公開とします。

- (1) 本 API 利用に関する金銭債務の不履行、その他利用契約に違反したことを理由とし
て利用契約を解除されたことがあるとき
- (2) 利用申込又は利用変更申込の内容に虚偽の記載、誤記があったとき又は記入もれが
あったとき
- (3) 金銭債務その他利用契約に基づく債務の履行を怠るおそれがあると当社が判断した
とき
- (4) その他当社が不相当と判断したとき

第 5 条（利用範囲）

前条により当社と利用者間の本 API に関する利用契約が成立した場合、本規約が認める
範囲内に限り、利用者は本 API を利用したアプリケーションの開発・運用を行うことがで
きるものとし、

第 6 条（対価）

当社は本 API の利用に関する対価について、別途通知するものとし、

第 7 条（再委託）

利用者は、当社の書面による承諾を得た場合、本 API を利用したアプリケーションの開
発・運用に関して第三者に当該業務を委託することができるものとし、

2. 前項により利用者が第三者に再委託する場合、利用者は、当該再委託先に対し、本規
約で定める利用者の義務と同等の義務を負わせるものとし、当該第三者の本規約上の義務

違反について利用者の本規約上の義務違反とみなして連帯して責任を負わなければならないものとします。

第8条（禁止事項）

利用者は、本 API の使用（エンドユーザーによるアプリケーションの使用に伴う場合を含む。）にあたり、以下に該当する行為をすることを禁止します。利用者が以下の事由のいずれかにでも該当する行為を行ったと当社が認める場合、当社は、利用者に対してなんらの催告なくして、本 API の使用を停止、中断並びに利用契約の解除をすることができるものとします。

- （1）本規約において許諾されていない方法、態様での本 API の使用
- （2）本規約で許諾されていないドキュメントの複製、改変、翻訳、第三者への頒布、送信（自動公衆送信、送信可能化を含む。但し、著作権法上の「引用」に該当する場合を除く。）
- （3）アクセストークンやクライアントシークレットなどの API の認証に関する情報の複製、第三者への頒布、送信（自動公衆送信、送信可能化を含む）
- （4）当社のサービスの機能・性能に悪影響を及ぼす行為又は妨害する行為
- （5）公序良俗に反する行為（反社会的活動およびその宣伝活動）
- （6）犯罪的行為（コンピュータウイルス・ジャンクメール・スパムメール・チェーンレターその他有害なファイルのアップロードや配布、殺人幫助、未成年者略取、ねずみ講にあたる行為を含むがこれに限らない。）および、当該犯罪的行為を助長またはその実行を暗示する行為
- （7）当社、当社の提携先、その他の利用者、または第三者の知的所有権等を侵害する行為
- （8）当社、提携先、その他の利用者、または第三者の財産・信用・名誉等を毀損する行為および、プライバシーに関する権利、肖像権その他の権利を侵害する行為
- （9）故意、過失を問わず、法令、条約に反する行為
- （10）当社、提携先、その他の利用者、または第三者に経済的・精神的不利益を与える行為
- （11）当社、提携先、その他の利用者、または第三者に対する誹謗中傷、いやがらせの行為
- （12）選挙の事前運動、選挙運動またはこれらに類似する行為、および公職選挙法に抵触する行為
- （13）未成年者に対し悪影響があると判断される行為
- （14）性風俗、宗教、政治に関する社会的行為であると判断される行為
- （15）当社が提供する全てのサービスの運営を妨げる行為、又はそのおそれのある行為と当社が判断する行為

- (16) 当社のサービスを提供するためのサーバ等に故意に負荷を掛けること目的とした本 API の利用行為
- (17) 当社が提供する全てのサービスの信用・名誉等を毀損する行為、又はそのおそれのある行為
- (18) 本規約の条項にいずれかに違反する行為
- (19) 個人に関する情報(ID やパスワード等)の収集、蓄積行為
- (20) その他、当社が不相当と判断する行為

第9条 (免責)

当社は、本 API を利用者に提供するにあたり、本 API に事実上または法律上の瑕疵（安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性、セキュリティなどに関する欠陥、エラーやバグ、権利侵害などを含みます。）がないことを明示的にも黙示的にも保証していません。また、当社は、利用者に対して、かかる瑕疵を除去して本ウェブサイトを提供する義務を負いません。

2. 天災地変、戦争・内乱・暴動、法令の改廃・制定、公権力による命令・処分、労働争議、輸送機関・通信回線の事故、原材料・運賃の高騰、為替の大幅な変動その他当社の責めに帰すことのできない不可抗力による利用契約の全部又は一部の履行遅滞、履行不能又は不完全履行については、当社は責任を負わないものとします。

第10条 (権利帰属)

当社から利用者に対して本 API の利用に伴い提供及び開示される各種システム及び各種情報（以下「各種提供情報等」といいます。）にかかる所有権及び知的財産権等は全て当社又は当社にライセンスを許諾している原権利者に帰属しており、別途書面により定める場合を除き、利用者は本規約に基づき当社又は当社にライセンスを許諾している原権利者より何等の権利の移転を受けるものではありません。開発者は、いかなる理由によっても当社又は当社にライセンスを許諾している原権利者の知的財産権等を侵害するおそれのある行為（逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングを含みますが、これに限定されません。）をしないものとします。

第11条 (秘密保持)

利用者は、本 API 利用に関連して知り得た当社及び当社の顧客に関する技術、営業、業務、財務、組織、その他の情報（以下、「秘密情報」という。）につき、方法の如何を問わず本 API の利用にかかわる自己の従業員等（契約社員、アルバイト及び派遣社員を含む。以下、「従業員等」という。）の秘密情報を知得する者を除きこれを第三者に開示あるいは漏洩してはならず、また、本 API の利用の目的外には使用してはならない。但し、以下の各号のいずれかに該当する情報は、秘密情報には含まれないものとします。

- (1) 開示の時に既に公知の情報、又は開示後利用者の責めに帰すべからざる事由により公知となった情報
 - (2) 当社から開示される以前に、自らが正当に保持、又は知っていた情報
 - (3) 当社からの情報に依拠せずして、自らが独自に開発し又は将来開発する情報
 - (4) 利用者が、正当な開示権限を有する第三者より秘密保持義務を負うことなしに入手し、又は入手する情報
 - (5) 当社が秘密情報から除外することを書面により承諾した情報
2. 前項の規定にかかわらず、利用者は、法令による場合、又は裁判所若しくは政府機関その他公的機関による強制力を伴う命令、要求若しくは要請を受けた場合には、当社に通知の上で、必要な限度において秘密情報を開示することができるものとします。
3. 利用者は、秘密情報を善良なる管理者の注意義務をもって厳重に保管・管理し、本件業務の実施にかかわる自己の従業員等の秘密情報を知得する者に対し、当該義務を周知のうえ、これらの者に当該義務を遵守させるよう適切な措置を講ずるものとします。
4. 利用者は、秘密情報を記載した書面その他の記録媒体等を複製する場合、事前に当社の承諾を得ることとし、複製物についても第3項に準じて取り扱うものとします。
5. 利用者は、秘密情報（その複製物及び改変物を含む。）について、本APIの利用契約が理由の如何をとわず終了した場合及び当社から要求があったときは、速やかにこれを当社に返還又は当社の指示に従い利用者が自己の費用と責任において廃棄等の処置を講ずるものとします。

第12条（個人情報保護）

利用者は、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の取扱いにあたっては、本規約のほか、個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）を遵守するものとします。また、利用者は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などのリスクに対し、個人情報の安全管理が図られるよう、自社の役職員に対し、必要かつ適切な監督を行うものとします。

2. 利用者は、本APIを利用し開発したアプリケーション等をエンドユーザーに利用させるに当たり、自らの責任でプライバシーポリシーをエンドユーザーに対して提示しなければなりません。当社がこのプライバシーポリシーの内容を不適切と判断した場合、利用者は当社の指示に従って、その内容を修正、変更するものとします。

第13条（当社からの利用契約の解約等）

1. 当社は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると判断した場合、利用者への事前の通知又は催告を要することなく利用契約の全部又は一部を解約もしくは利用の停止をすることができるものとします。

- (1) 利用申込書、利用変更申込その他通知内容等に虚偽記入又は記入もれがあった場合

- (2) 支払停止又は支払不能となった場合
 - (3) 手形又は小切手が不渡りとなった場合
 - (4) 差押え、仮差押えもしくは競売の申立があったとき又は公租公課の滞納処分を受けた場合
 - (5) 破産、会社更生手続開始もしくは民事再生手続開始の申立があったとき又は信用状態に重大な不安が生じた場合
 - (6) 監督官庁から営業許可の取消、停止等の処分を受けた場合
 - (7) 利用契約に違反し当社がかかる違反の是正を催告した後合理的な期間内には是正されない場合
 - (8) 解散、減資、事業の全部又は重要な一部の譲渡等の決議をした場合
 - (9) 当社のサービスと同様又は類似のサービスを現に提供している場合又は将来行う予定があることが判明した場合
 - (10) 反社会的活動を行っている場合その他反社会的勢力に該当する場合もしくはこれら企業と関連がある場合
 - (11) その他利用契約を履行することが困難となる事由が生じたと当社が判断した場合
2. 利用者は、前項各号の事由に該当した場合で、当社による利用契約の解約又は停止があった場合には、その時点で当社に負っている一切の債務について期限の利益を失い、直ちにこれを支払わなければならないものとします。

第14条 (APIの変更・停止・終了)

当社は、利用者に対する事前の予告なくして、本APIの内容の変更、本APIの停止または終了をすることができるものとし、利用者は予めそれに同意するものとします。

第15条 (有効期間・存続規定)

本APIの利用契約の有効期間は、契約成立から1年間とし、有効期間終了の1ヶ月前までに当事者から相手方に対し契約終了の意思表示がされない場合、更に1年間の期間が更新されるものとし、爾後も同様とします。

2. 利用契約が期間満了、解除若しくは解約その他理由の如何を問わず終了した場合においても、第10条(権利帰属)、第11条(秘密保持)、第12条(個人情報)、第13条(当社からの利用契約の解約等)第2項、本条本項、第19条(合意管轄及び準拠法)の定めはなお有効に存続するものとします。

第16条 (規約の変更)

当社は、本規約を随時追加・変更・削除(以下「変更」といいます。)することがあります。なお、この場合には、当社と利用者間の本API利用に関する権利義務関係に変更後の規約を適用するものとします。

2. 前項の本規約の変更は、当社が別途定める場合を除き、当社のホームページに変更後の内容を表示した後1週間の経過をもってその効力を生じるものとします。なお、利用者は当該期間の経過後の本APIの利用により当該変更に同意したものとみなされます。

第17条（権利義務の譲渡）

利用者は、当社の書面による事前の承諾を得ない限り、本規約に基づく権利又は義務を、全部であるか一部であるかを問わず、第三者に譲渡し、引受けさせ、担保に供し、その他如何なる態様によっても処分することができないものとします。利用者は、当社が利用者へ通知することにより、当社の契約上の地位並びに利用契約に基づく権利又は義務を、全部であるか一部であるかを問わず、第三者へ譲渡、引受け、担保設定、その他如何なる態様による処分も実施できることを承諾します。

第18条（協議）

本規約に規定のない事項及び規定された項目について疑義が生じた場合は当社及び利用者は誠意をもって協議の上解決することとします。なお、本規約の何れかの部分が無効である場合でも、本規約全体の有効性には影響がないものとし、かかる無効の部分については、当該部分の趣旨に最も近い有効な規定を無効な部分と置き換えるものとします。

第19条（準拠法・管轄）

本規約又は利用契約の成立、効力、履行及び解釈に関する準拠法は、日本法とします。

2. 本規約に関して生じた一切の争訟については、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2016年8月29日 制定

2018年5月11日 改定